

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 障害福祉課

2 施設所在地
富山市下飯野36番地

3 施設設置年度
平成27 年度

4 設置目的
障害者、障害児、高齢者等に高度かつ専門的なりハビリテーション医療を提供するとともに、障害児に相談、指導、訓練その他の支援を行うことにより、障害者等の社会復帰及び健全な発達を促進し、もって障害者等の福祉の増進を図る。

5 施設概要

- ・建物の構造及び面積
 - ①富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
(鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 6階建)
19,190.57㎡
 - ②旧富山県高志リハビリテーション病院の一部
(鉄筋コンクリート造 5階建)
9,523.95㎡
- ・病床数：232床

6 指定管理者
(福) 富山県社会福祉総合センター

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
	33,997	141,329	145,930	148,894

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
	722,585	3,092,565	3,148,523	3,402,922

(3) 利用料金収入見込み額 (利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
	682,650	2,793,229	2,793,229	3,659,386

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

診療科については、常設科6科体制、非常設科6科体制を引き続き維持するとともに、専門外来については、「甲状腺外来」、「腎臓・高血圧外来」を加えた11科体制とするなど、より総合的な診療体制の確保を図るとともに、各科が連携したスムーズな診療に努めた。また、平成30年7月に療養介護棟(30床)を開設した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ①理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士の増員によるリハビリ訓練の充実
- ②土、日及び休日リハビリテーション(365日リハ)の実施
- ③重症度・看護必要度の高い患者の受入
- ④入院待ち日数短縮化に向けた各種取組み(紹介元医療機関との連携の強化や他職種によるチーム医療など、入院患者の早期回復・退院支援・在宅復帰に向けた療養環境の整備)の実施
- ⑤日中の救急(下肢の骨折等の外傷患者)の受入
- ⑥手の外科専門医による多岐にわたる手・足の外科手術の充実

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

365日リハの一層の充実に努めるとともに、手術件数・外来患者の増加策の検討や病床利用率の安定的な確保を図るなど病院経営の改善・安定に努める。
さらに、院内学術集会をはじめ、外部講師や職員相互による院内研修の実施、学会や院外研修会への参加、先進的な病院等へのチームによる訪問調査等を通じ、職員の資質とモチベーションの向上を図るとともに、高度化・多様化するリハビリテーション医療に対応する。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	アンケート用紙を退院患者に配布(通年実施)
回答者数	入院患者211人
結果	医師の診断・内容の説明(良かった72% 普通26%) 看護の丁寧さ(良かった75% 普通23%) 利用者に対する優しさ(感じる84% どちらともいえない13%)
結果を踏まえた改善事項	アンケートの結果をもとに、それぞれの部署において接遇のさらなる向上に向け、誠意をもって取り組んでいる。

②その他利用者の声を反映させる取組み

医療ソーシャルワーカーを配置し、入院当初や入院中の患者・家族との面接などを通して入院中や退院後の各種相談に応じている。

利用者満足度調査を実施し、調査結果に基づき、利用者にとってより快適な病院になるよう取り組んだ。

③主な苦情と対応

ご意見箱を設置するなど、利用者からの様々な苦情・要望等に対し、所管の委員会等で検討・協議を行い、是正、改善を図った。

(具体的な内容と対応)

- ・カートが少なく探すのが大変との要望があり、追加のカートを用意した。
- ・外来受付に車いす優先スペースを設置してほしいとの要望があり、車いす優先スペースを設けた。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を基本として、プライバシーポリシー・個人情報の利用目的の施設内掲示、「入院案内」への記載、診療録等情報の管理の徹底、実習生への情報管理の徹底に係る教育等の取組みを実施している。

(6) 関係団体との連携

病院・福祉施設・地域のリハビリテーションスタッフ・福祉関係者、そして地域の方々との連携を図り、患者や家族に対して良質で効率的な医療・リハビリテーションを提供するため、地域医療福祉連携室において、関連病院・施設との入退院等の連絡調整や患者等の医療福祉に関する相談に応じた。

(7) 施設・設備の維持管理

各施設設備の計画的な整備点検・修繕を実施し、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

① 医療安全管理指針及び事故発生時の対応等各種マニュアルを整備済

② 患者の安全と病院の保全を図るため、平成28年度に作成した病院の防災指針や防災マニュアルを受け、地震などの大規模災害に対応できるように、事業継続計画(BCP)を平成30年3月に策定した。

また、平成30年12月には、消防署立会いのもと、地震発生時における医療対応についての実地訓練を実施した。

③ 院内に設置している「医療安全委員会」及び「感染対策委員会」を月1回定期的に開催し、医療安全対策として、主にインシデント・アクシデント事例の分析と防止策の検討・実践、感染対策として、院内感染防止等の検討と実践や院外での勉強会への参加、さらに職員の資質向上を目的として院内研修会を行った。

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	1
③個人情報に関するトラブルの有無	無	-
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・365日リハ完全実施によるリハビリ訓練単位数の増
- ・患者数・利用者数の増
- ・医師、看護師、療法士等人材の確保

平成30年度は、看護師、療法士等を採用したほか、小児科医を1名増員し人材の確保に対応。